

FUJI Business Report

FUJI ビジネスリポート

第51期

平成27年4月1日から平成28年3月31日まで

夢見る人に次々と。
ヒト味違う“オモシロ”さ！



 株式会社 藤商事



東証JASDAQ上場
(証券コード 6257)

時代の変化に応じた「変わる挑戦」を行い、安定した成長の確保を目指してまいります。



代表取締役社長
井上 孝司

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

当社では、平成28年4月1日、前社長の松元邦夫が代表取締役会長となり、私、井上が代表取締役社長に就任いたしました。新しい経営体制のもと、コーポレートスローガン「ヒト味違う“オモシロ”さ！」を追求し、今までの常識や習慣にとらわれず、新たな発想やアイデアをカタチにするために私たち自身も変わり続けてまいります。

株主の皆様におかれましては、より一層のご支援を賜りますよう、よろしくごお願い申し上げます。

市場動向と平成28年3月期の総括

Q1 当業界の現状と重点課題の達成状況を含め、総括をお願いいたします。

A1 平成28年3月期の結果を真摯に受け止め、業績の回復を図ります。

現在の当業界は、パチンコ参加人口およびホール軒数の減少が続いており、ホール様の経営環境は依然として厳しい状況にあります。遊技機の購入においても慎重な姿勢が継続され、安定稼働の見込める実績のある機種を選択する傾向が強まっています。

こうした状況のなか、当社は、知恵と工夫をもって「稼働力の追求」と「利益体質の強化」の2つの重点課題に取

業績ハイライト

販売台数 <small>(パチンコ遊技機・パチスロ遊技機合計)</small>	110,800 台	(対前年同期比 30.5%減)
売上高	38,166 百万円	(対前年同期比 32.0%減)
営業利益	2,035 百万円	(対前年同期比 74.4%減)
経常利益	2,052 百万円	(対前年同期比 74.2%減)
当期純利益	1,237 百万円	(対前年同期比 74.3%減)

り組みました。

まず1つめの「稼働力の追求」につきましては「①ホラーに次ぐ新たなジャンルの確立」と「②独自性の追求」を実現することに努めました。「①ホラーに次ぐ新たなジャンルの確立」につきましては「CR地獄少女 弐(ツー)」と「CR地獄少女 弐 くりの地獄祭り」がファンの皆様からのご支持を受け良好に稼働したほか、計画通りの販売台数を達成いたしました。「パチスロ 地獄少女」においても一定の評価を得たことから、当社は「地獄少女」をホラーに次ぐ新たなジャンルとして位置づけており、次回作を推進していく予定です。「②独自性の追求」におきましては、若年層に親しまれているソーシャルゲームの演出を採用した「CR クリスタル&ドラゴン」と「CRA ヘルプ!!! 恋が丘学園 おたすけ部」を発売し、良好に稼働いたしました。

2つめの「利益体質の強化」では「①販売計画の着実な達成」と「②ムリ・ムダ・ムラを排除する体制作り」に努めました。「①販売計画の着実な達成」につきましては、販売計画の未達により、売上高・各利益ともに減少いたしました。次期につきましては、得意ジャンルや新たなジャンルの遊技機を投入し、販売台数の確保に努めてまいります。

また、「②ムリ・ムダ・ムラを排除する体制作り」につきましては、リユース品目の増加や、部材の共通化を図ったことにより一定のコスト削減効果が確認できました。今後より一層努力し、利益体質の強化を目指してまいります。

平成29年3月期の取り組み

Q2 代表取締役社長が交代し、新体制となりましたが、次期の重点課題と今後の展開を教えてください。

A2 「変わる挑戦」をテーマに「稼働力の追求」と「利益体質の強化」を推進します。

平成29年3月期の重点課題

稼働力の追求・利益体質の強化 ～変わる挑戦～

- ① 稼働力の追求
 - 新規タイトルの育成や、新たなスペックに挑戦
 - 独自性の追求
- ② 利益体質の強化
 - 販売計画の着実な達成
 - ムリ・ムダ・ムラを排除する体制作り

平成29年3月期は、これまでの開発方法などを見直し、自らが変化に順応する「変わる挑戦」を掲げ、「①稼働力の追求」と「②利益体質の強化」に引き続き取り組んでまいります。

「①稼働力の追求」では、ホラーなどの得意ジャンルの拡充はもちろん、新規タイトルの育成や新たなスペックの開発に挑み、独自性の高い機種を創造してまいります。「②利益体質の強化」につきましては、店舗数を伸ばしているホール様に重点的に販売を推進し受注の精度を高め、販売計画を着実に達成してまいります。また、ムリ・ムダ・ムラを排除する体制の構築を推進することで、より多くの利益を創出できるよう努めてまいります。

スマートフォン・ゲームアプリの取り組みにつきましても、新たなタイトルをリリースし運営していくことでノウハウを積み上げていくとともに、遊技機に関する事業とのシナジー効果を狙い推進してまいります。

株主還元

Q3 配当施策についてお聞かせください。

A3 適正な利益還元を継続し、信頼される企業を目指します。

当社は企業価値の向上とともに、株主の皆様への適正な利益還元を行い、信頼される企業を目指しております。平成28年3月期の1株当たり配当金につきましては、25円の間配当を実施済みであり、期末配当については、25円とさせていただきます。平成29年3月期の1株当たり配当金は、通期で50円を予定しており、業績予想に基づく配当性向は37.0%となります。

今後とも株主の皆様のご支援を賜りますよう、ごお願い申し上げます。

その他トピックス

個人投資家向け説明会の実施

- 大和IR フェスタ出展
(平成27年7月4日)
- 日経IR・投資フェア2015出展
(平成27年8月28日・29日)
- SBI マネープラザ個人投資家様向けIRセミナー出展
(平成27年11月12日)
- 野村IR資産運用フェア2015出展
(平成27年12月11日・12日)

新たな商品ブランドを確立。有力機種としてシリーズ展開へ。



CR地獄少女 弐



販売台数

23,100

平成27年4月発売

©地獄少女プロジェクト/三鼎製作委員会



CR地獄少女 弐

2011年に発売し好評を博した「CR地獄少女」のシリーズ作、パチンコ「CR地獄少女 弐」。当社の主力機種である「CRリング」シリーズに次ぐコンテンツとして投入。当期のパチンコ遊技機の販売台数を牽引したとともに、良好な稼働実績を残しました。



CR地獄少女 弐



販売台数

8,000

平成28年1月発売

©地獄少女プロジェクト/三鼎製作委員会



きくりの地獄祭り

CR地獄少女 弐 きくりの地獄祭り

「CR地獄少女 弐」をお祭りバージョンにした機種として投入。地獄少女の艶やかな映像や楽曲はそのままに、可愛いキャラクターの「きくり」がお祭りモードでにぎやかに盛り上げる遊びやすい機種です。ファン層に支持され、当期のパチンコ遊技機の販売台数の積み上げに貢献しました。



パチスロ 地獄少女

パチスロ 地獄少女

パチンコ遊技機で実績のある「CR地獄少女」シリーズをパチスロとして商品化した『パチスロ 地獄少女』。パチンコでも好評だった艶やかな映像、楽曲などを踏襲しつつ、パチスロならではのゲーム性や演出を実現。幻想的で刺激的な地獄少女ワールドを再現し、計画した販売台数を達成しました。



PACHISLOT



販売台数

10,000

平成27年9月発売

©地獄少女プロジェクト/スカーパーウェルシンク・アニプレックス
©地獄少女プロジェクト/三鼎製作委員会

当期の発売機種

Main Lineup

パチンコ

CR着信アリ



CR着信アリ

映画「リング」などを世に輩出したKADOKAWA渾身のジャパニーズホラーである映画「着信アリ」をモチーフにした機種として投入。当期において期待の機種であったものの、パチンコとしては稼働実績がまだない新しいタイトルであったこともあり、計画台数には至りませんでした。

販売台数
10,900台
平成27年8月発売

©2004「着信アリ」製作委員会
©2003秋元康 発行：株式会社KADOKAWA 角川書店



連れていってあげる。

パチスロ

パチスロ 緋弾のARIA



パチスロ 緋弾のARIA

パチンコ遊技機「CR緋弾のARIA」で多くのパチンコファンに支持されたコンテンツが「パチスロ 緋弾のARIA」となって登場。これまでに無い新たなゲーム性を実現。当初は投入する計画になかったものの、開発等が順調に進んだことにより投入が可能となり、パチスロの販売台数押し上げに貢献しました。

販売台数
8,400台
平成28年1月発売

©2011赤松中学・株式会社KADOKAWA
メディアファクトリー刊/東京武偵高校



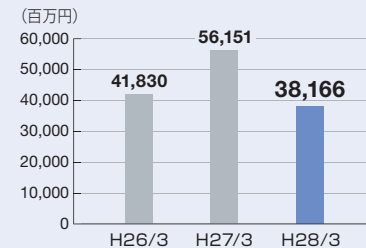
業績ハイライト

財務の詳細は当社ホームページの「投資家情報」をご覧ください。
藤商事 検索

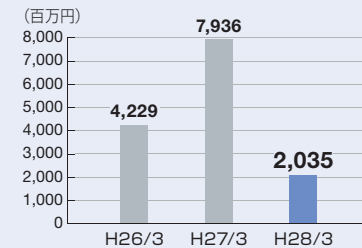
決算のポイント

パチンコ遊技機の販売が計画未達となり、前期比減収減益。

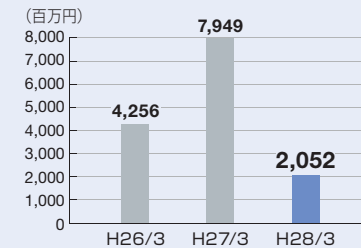
売上高



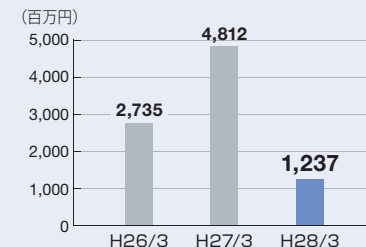
営業利益



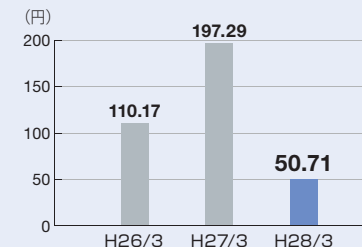
経常利益



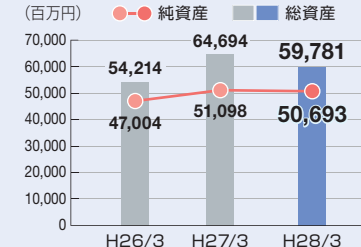
当期純利益



1株当たり当期純利益



純資産/総資産



貸借対照表

単位：百万円

科目	平成27年3月期 (H27.3.31現在)	平成28年3月期 (H28.3.31現在)
資産の部		
流動資産	49,490	42,635
固定資産	15,203	17,145
有形固定資産	6,475	6,973
無形固定資産	162	128
投資その他の資産	8,565	10,043
資産合計	64,694	59,781
負債の部		
流動負債	11,975	7,752
固定負債	1,620	1,335
負債合計	13,596	9,087
純資産の部		
株主資本	50,065	50,082
評価・換算差額等	1,033	610
純資産合計	51,098	50,693
負債純資産合計	64,694	59,781

損益計算書

単位：百万円

科目	平成27年3月期 (H26.4.1~H27.3.31)	平成28年3月期 (H27.4.1~H28.3.31)
売上高	56,151	38,166
売上原価	30,256	19,622
売上総利益	25,895	18,543
販売費及び一般管理費	17,958	16,508
営業利益	7,936	2,035
営業外収益	122	152
営業外費用	109	134
経常利益	7,949	2,052
特別利益	-	8
特別損失	4	8
税引前当期純利益	7,945	2,052
法人税、住民税及び事業税等	3,705	430
法人税等調整額	△573	384
当期純利益	4,812	1,237

キャッシュ・フロー計算書

単位：百万円

科目	平成27年3月期 (H26.4.1~H27.3.31)	平成28年3月期 (H27.4.1~H28.3.31)
営業活動によるキャッシュ・フロー	11,155	△2,559
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,722	△4,070
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,219	△1,220
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	7,212	△7,850
現金及び現金同等物の期首残高	26,425	33,638
現金及び現金同等物の期末残高	33,638	25,788

平成29年3月期業績予想

第2四半期(累計) 通期	売上高		営業利益		経常利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
第2四半期(累計) 通期	22,100	18.9	1,100	140.4	1,200	126.2
	50,000	31.0	5,000	145.7	5,000	143.6
第2四半期(累計) 通期	当期純利益		1株当たり当期純利益		年間配当金	
	百万円	%	円	銭	円	銭
第2四半期(累計) 通期	800	160.0	32.79		25.00	
	3,300	166.7	135.27	(合計)	50.00	

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

会社概要

設立 昭和41年10月1日
 本社 大阪市中央区内本町一丁目1番4号
 従業員数 458名
 事業内容 パチンコ遊技機・パチスロ遊技機の
 開発、製造、販売

役員 (平成28年4月1日現在)

代表取締役会長	松元邦夫
代表取締役副会長	松元正夫
代表取締役社長	井上孝司
常務取締役	辻田隆
取締役	羽山敏隆
取締役	米田勝己
取締役	渡辺勝治
社外取締役	坪本浩一郎
社外取締役	川添嗣夫
常勤監査役(社外)	水嶋延和
社外監査役	川西耕司
社外監査役	堀弘二
社外監査役	川島育也

事業所

名古屋事業所 (名古屋工場および開発部)

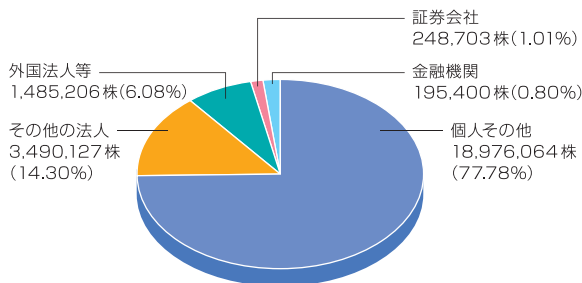
東京開発事業所

仙台支店	札幌営業所	京都営業所
埼玉支店	青森営業所	神戸営業所
東京支店	千葉営業所	広島営業所
名古屋支店	横浜営業所	高松営業所
大阪支店	八王子営業所	熊本営業所
福岡支店	金沢営業所	鹿児島営業所
	静岡営業所	

株式の状況

1) 発行可能株式総数 80,000,000株
 2) 発行済株式の総数 24,395,500株
 3) 株主数 7,284名

所有者別株主分布



4) 大株主 (上位10名)

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
松元 邦夫	6,656,000	27.28
松元 正夫	6,562,600	26.90
株式会社松元ホールディングス	2,900,000	11.88
松元 香揚子	700,000	2.86
BNY GCM CLIENT ACCOUNT JPRD AC ISG (FE-AC)	536,294	2.19
吉田 嘉明	501,500	2.05
サン電子株式会社	290,800	1.19
藤商事従業員持株会	265,700	1.08
松元 恵子	260,000	1.06
J.P. MORGAN CLEARING CORP-CLEARING	97,000	0.39

株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 毎年6月

基準日 定時株主総会 毎年3月31日
 期末配当 毎年3月31日
 中間配当 毎年9月30日
 その他必要がある時は、予め公告して定めた日

株主名簿管理人および
 特別口座の口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
 三井住友信託銀行株式会社

株主名簿管理人
 事務取扱場所 大阪市中央区北浜四丁目5番33号
 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

郵便物送付先 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

電話照会先 ☎ 0120-782-031

ホームページ <http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html>

公告方法 当社のウェブサイトに掲載致します。
 (http://www.fujimarukun.co.jp)
 ただし、事故その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載致します。